# 愛知県議会の海外視察の見直しを求める決議

共同通信の令和８年１０月２５日の報道によると、愛知県議会は令和６・７年度の海外視察４回に計約１億１，８００万円の公費を支出した。同年１１月３日の報道では、同県議会が議員１人当たりの旅費総額に上限を設けず、１人平均約３００万円となった視察もあったとされる。任期単位で上限を設ける他の議会では、８０万～１００万円とする例が多かった。

県民が費用と成果を確かめられるよう、犬山市議会は愛知県議会に次の措置を求める。

記

１．調査のための海外派遣に係る公費負担は、議員１人当たり任期通算１００万円を上限とすること。共通経費の議員分も上限に含めること。

２．派遣の議決前に、現地で調査する必要性、人数、日程及び見積額を公表し、審査すること。国内やオンラインでの調査で代替できるかも確認すること。

３．令和６・７年度の４回の支出と成果を検証し、公表すること。今後は調査報告書に加えて費用の内訳を公表し、帰国後１年以内に県政への活用状況を公表すること。

４．上限と審査・検証のルールを整備・公表するまで、新たな海外視察に係る議員派遣の議決を見合わせること。

以上、決議する。

令和８年１１月１８日

愛知県犬山市議会